

オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

vol.26

令和4年度「SDGs未来都市」に選定
されました！

世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

市は、大崎地域の強みである世界農業遺産「大崎耕土」とSDGs目標を連動させた、持続可能な地域づくりを推進するため、内閣府が実施するSDGs未来都市に応募しました。

SDGs未来都市とは、地方創生SDGsの達成に向け、優れたSDGsの取り組みを提案する地方自治体を、内閣総理大臣が選定するものです。

市の提案は、世界農業遺産に認定された「大崎耕土」が持つ水田や、屋敷林「居久根」の生物多様性などの環境面の資源を活用しながら、社会や経済への好循環を与える取り組みを実施するものです。この提案が評価されたことで、5月20日に令和4年度の「SDGs未来都市」に選定されました。

詳しくは、広報おおさき7月号で紹介します。

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

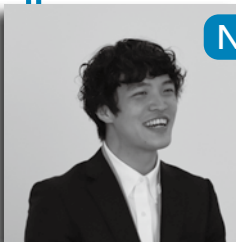
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



陳 嘉良 さん

観光振興(地域コーディネーター事業)

NEW



大崎市地域おこし協力隊員 を紹介します



地域おこし協力隊員とは、他の地域から大崎市に移り住んで地域の宝を再発見し、世界へ情報発信を行うとともに、移住・定住人口拡大のために活動する人たちです。

令和4年4月1日に「地域おこし協力隊員」として、田邊香さん、堀内大暉さん、5月1日に台湾出身の陳嘉良さんを任命しました。堀内さんと田邊さんは、令和2年度から活動され、本年度が3年目となります。4人の新たな視点から、市全体を盛り上げていきます！

政策課政策企画担当 ☎23-2129

大崎さんの 食育コラム

その14

健康づくりの決め手は
減塩習慣！



世界農業遺産推進課企画調整担当 ☎23-2281

塩分は料理の味をおいしくするけれど、塩分の多い食事を続けていると高血圧などの生活習慣病にかかりやすくなるので、注意してね。
塩以外の調味料では加工食品、スナック菓子などにも多く含まれているから気をつけよう！
減塩のポイント！
「風味」…ネギ、シヨウガ、ゴマなどを加えると風味が増し、食材の味を生かせるので、塩分を節約できる。

「酸味」…酢、レモンなどの酸味を、味付けに加えることで、味の変化が楽しめ、ほかの料理が薄味でもおいしく感じる。
「うま味」…かつお節、昆布などのだしを使うことで塩分を減らせる。料理のトッピングにかつお節を使うと、うま味加わるのでおすすめです。
自分では薄味だと思っても、味覚は人それぞれだよ。普段の食事を振り返ってみよう！

交通規制(田尻地域)します

田尻中学校(宮城県中学校駅伝競走大会事務局) ☎39-0043

大崎地区中学校駅伝競走大会(6月29日)および宮城県中学校駅伝競走大会(10月5日)の開催に伴い、コースとなっている道路が、安全対策のため全面交通規制となります。交通安全対策に協力願います。詳しくは、市ウェブサイトを確認してください。

日時 6月29日(水)、10月5日(水) 9時30分～14時

※6月30日(木)、10月6日(木)は、予備日です。

場所 田尻中学校周辺(田尻沼部字早稲田付近)

市ウェブサイトQRコード



みんなでエコっぺ！

～やってみよう「エコ活」～

環境保全課環境保全担当 ☎23-6074

カーボンニュートラルに向けて、一人一人の行動を変えることが大切となります。

「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を、森林などによる吸収量との差し引きで全体としてゼロとすることです。その取り組みが、私たちの暮らしとどう関係するのか。実は、生活における日々の「選択」が、温室効果ガス排出量に影響を与えています。

そこで、私たちが簡単にできる取り組みを、これからシリーズで紹介していきます。

Vol.1「エコなファッションを」

日本の衣類廃棄量は年間約100万トンで、1人当たり1年に26枚も捨てている計算です。私たちができる取り組みを紹介します。

早速、実践してみましょう！

- ①持っている服を長く大切に着る
- ②長く着られる服を選ぶ
- ③環境に配慮した服を選ぶ



今月の表紙

5月5日、岩出山地域の「旧有備館および庭園」で、有備館こどもの日特別企画「子ども甲冑 試着体験」が開催され、親子連れでにぎわいました。

子どもたちは、約3キログラムの甲冑を身に着けると、最初は緊張した様子でしたが、鏡に映る甲冑姿にうれしそうな表情を見せていました。歩くのに苦労する場面もありましたが、かわいらしい武将の姿に、周囲の人たちは笑顔であふれていました。



「こどもの日」に飾る五月人形は、かぶとやよろいが身を守ることから、子どもを災いや病気から守り、健やかに成長するように、という願いが込められています。

これからの子どもたちの成長が楽しみです。

広報おおさき6月号 2022 No.195

Main Contents

目次

04 市長就任のあいさつ

06 災害から命を守るため「備え」を考えましょう！～自らの命は自らが守る～

08 新型コロナウイルスワクチン接種情報

09 CITY TOPICS

10 Discover OSAKI

11 OSAKI Culture

12 オオサキプレイガイド

14 暮らしの情報 個人や小規模事業者のエコ活動を支援します ほか

24 育児相談・乳幼児健診

26 相談コーナー

28 Main Dish